

朝日新聞

2012年(平成24年)
3月26日
月曜日
夕刊

しょうゆ復活へ食育 14面
三宅島復興に若者の力 15面

be evening 4~6面
エレベーターのドアやパネルを磨き上げ、鏡に変える。創意工夫で自分流の仕上げ技を築いた職人。4面

「原発とメディア」13面
文化(音楽)3面
スポーツ13面/小説6面
こころ11面
「窓」2面/円・株・金融9面
TV・ラジオ9・16面

朝日新聞DIGITAL
充実の記事と機能
PC・iPad・iPhone
アンドロイド端末で
digital.asahi.com

朝日新聞東京本社
発行所:〒104-8011 東京都中央区
築地5-3-2 電話:03-3545-0131
www.asahi.com

紙も電子も! 100万点
読みたい本が見つかる
ブック・アサヒ・コム
BOOKAsahi.com

朝日新聞の
書評・記事
2万件超
朝日新聞社
ブック 朝日 検索

核軍縮「ロシアと新交渉」

米大統領「5月開始の方針」

オバマ大統領は26日、訪問中のソウルで演説し、「核のない世界」に向けて、5月に訪米するロシアのプーチン大統領と、新たな核軍縮交渉に取り組み考えを示した。北朝鮮に対しては「挑発行為では見返りは得られない」とし、核開発計画を放棄するよう強く呼びかけた。

オバマ氏は核保安サミット出席のためにソウル入りしており、韓国外国語大学で演説した。演説の中で、核軍縮交渉をロシアとの優先課題とする。プーチン大統領と5月に会談を要請し、原子力の民生利用促進へ核燃料調達のための枠組みをつくる。核テロ対策で、世界各地の核施設から計数千基にのぼる核物質を除去した。北朝鮮を敵視する考えはない。核開発を続ければさらなる孤立や制裁を招く。東京電力福島第一原発事故後、各国が核施設の安全策を強化したのは正しい。具体的には、昨年2月に発効したロシアとの新戦略兵器削減条約(新START)で定められた1500基の配備核弾頭をさらに削減できる」と宣言。ロシアとの間で、戦略核兵器だけでなく、射程の短い戦術核や保管中の核の削減も交渉すると表明。プーチン新大統領と、この問題を話し合う意向を示した。

また、中国が核戦力の増強を図っているとの認識を示し、「核問題に関する我々との対話に加わってほしい」と要請。米国として、包括的核実験禁止条約(CTBT)などの発効を目指す意向も確認した。

核不拡散の分野では、北朝鮮の金正恩政権に直接呼びかけることで、「挑発的な行為や核開発は、あなた方が求める安全保障は得られない」と指摘。「平和と北朝鮮の人々のよい生活を追求する勇氣を持って」と迫った。イランに対しても、米中など6カ国との協議で、問題の外交的解決を目指すよう求めた。

北電道電力は26日、国内の原発で唯一運転中の泊原発3号機(北海道泊村)の運転を5月5日に停止すると発表した。泊3号機が運転停止するまでには、国内の原発54基がすべて停止する。北電は26日、経済産業省に3号機を停止し、定期検査に入るための申請をした。3号機は4月下旬に止

泊原発、5月5日停止



泊原発の3号機。5月5日に運転を停止する予定だ。2011年4月の地震で、1号機と2号機の炉心が溶け出し、放射性物質が漏れ出した。3号機は4月下旬に停止する予定だ。

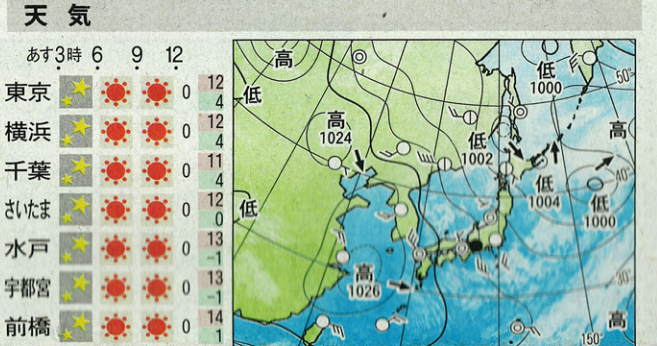
米男子ゴルフのアーノルド・パーマー招待は25日、米フロリダ州オーランドのベイヒル・クラブ(741

9パーパー72)で最終ラウンドがあり、タイガー・ウッズが36パーで通算13アンダーで今季初優勝を果

たした。米ツアーでの優勝は3年ぶり。2009年は「素晴らしい人になっただけ。支えてくれた人たちに感謝したい」と喜びを語った。

▼13面は「いあがった

あと1基。政界や学界も地元やへばらまかれたカネは深く心そかに染み渡り。一筋縄ではいかぬ脱しがらみ。春近い南からオバマ氏、北を望む。凍土を解かず策はありや。威信かけたミサイルの噴きで怒る人々がいて。自分の名前をググッたら、とんでもない言葉が出てくるかも。それで評価されたので。ネット検索社会の暗闇。



「福島の教訓 世界と共有」
首相、核サミットへ
野田佳彦首相は韓国・ソウルでの核保安サミットに出席するため、26日午後日本を出発する。それに先立ち同日午前の参院予算委員会で、北朝鮮による事実上の長距離ミサイル発射警告

家庭でつかう都市ガスのもとになる「液化天然ガス(LNG)」をためておく世界最大級の貯蔵タンクの建設が進んでいる。東京ガスが横浜市鶴見区の東京湾岸につくっているもので、26日には、タンクのふたになる「屋根」(重さ960トン)を、空気の圧力で持ち上げながら取り付ける様子が報道各社に公開された。

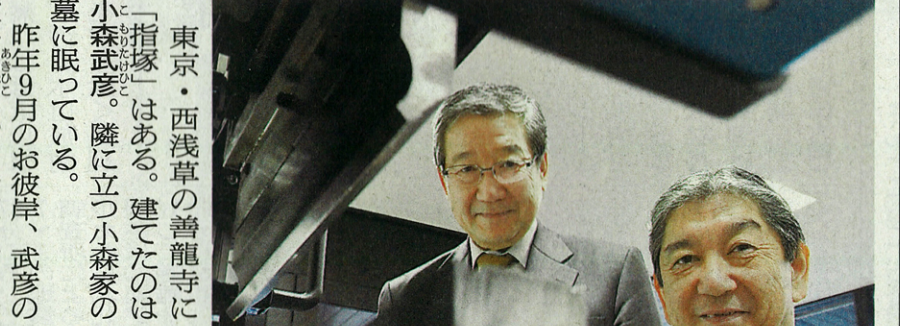
地下に建設中のタンクは内径72メートル、深さ61.7メートル、奈良県の東大寺大仏殿がすっぽり入るほどの大きさだ。貯蔵量は25万リットルで、首都圏の36万世帯が1年間につかう都市ガスになる量のLNGをためられる。工事は2009年4月から始まり、完成は13年11月の予定。(細川卓磨撮影)

ウッズ、3年ぶりV
米男子ゴルフのアーノルド・パーマー招待は25日、米フロリダ州オーランドのベイヒル・クラブ(741

たした。米ツアーでの優勝は3年ぶり。2009年は「素晴らしい人になっただけ。支えてくれた人たちに感謝したい」と喜びを語った。

重松開三郎さん
安全装置は光学式が主流になっていて、マスクや安全帽、命綱、安全靴……。働く人の安全と健康を守るためには質の良い保護具が必要になる。56年、保護具メーカーが情報交換のために「みどり会」をつくった。幹事長に就いたのが、マスキングの専門家、重松開三郎(83)さんだ。重松は創業当時のエンジニアである。重松は輸入した理化学品を販売する会社に勤めていて、セールのマンとして様々な工場に出入りしていた。めっき工場の食堂で、若い工員が弁当箱を開いてたくあんをかき混ぜていると、重松が言った。「たくあんがかじれるようでは一人前じゃないぞ。おれの歯を見ろ」。熟練工の歯はポロポロ。めっきで使う酸の霧の影響だった。

指守り抜くこれが天命



「指守り」はある。建てたのは小森武彦。隣に立つ小森家の墓に眠っている。昨年9月のお彼岸、武彦の次男明彦(58)は指塚の前を歩くと、初老の女性と20代の男性を見かけた。母親らしい女性と言った。「いろいろあるじゃない。あなたも指がないんだから、拝んでいきなさい」。男性は指塚に向かかってしばらく手を合せていた。指塚の裏に武彦の言葉が刻まれている。「幾多の人々がプレス災害により指を失い不幸をきたしたるを思いその不幸をいたたきここに指塚を建立するものなり(原文)」。塚の下には武彦が開発した安全装置が埋まっている。

いい洗顔をお探しの方へ!

シミ・くすみ・毛穴が気になる方

500円

送料無料で! 初回限定お試しキャンペーン!!

タナカミネラルソープ 88円(税別) 250ml
タナカクレンジングSP 88円(税別) 250ml

10秒でねばり泡! 泡立てネットがいらない洗顔!

1 強力な吸着力! 2 毛穴のひきしめ 3 しっかり保湿!

無添加 ミネラル洗顔で「肌が変わる」!!

無添加化粧品にこだわり続けて16年。

●シミ・くすみ気になる方 ●肌の弱さ気になる方 ●お肌が敏感な方 ●毛穴が目立って気になる方

24時間受付 年中無休(年末年始除く) キャンペーン専用 朝日MS(夕刊)0326

0120-8000-70 0800-500-6000

www.sassty.com

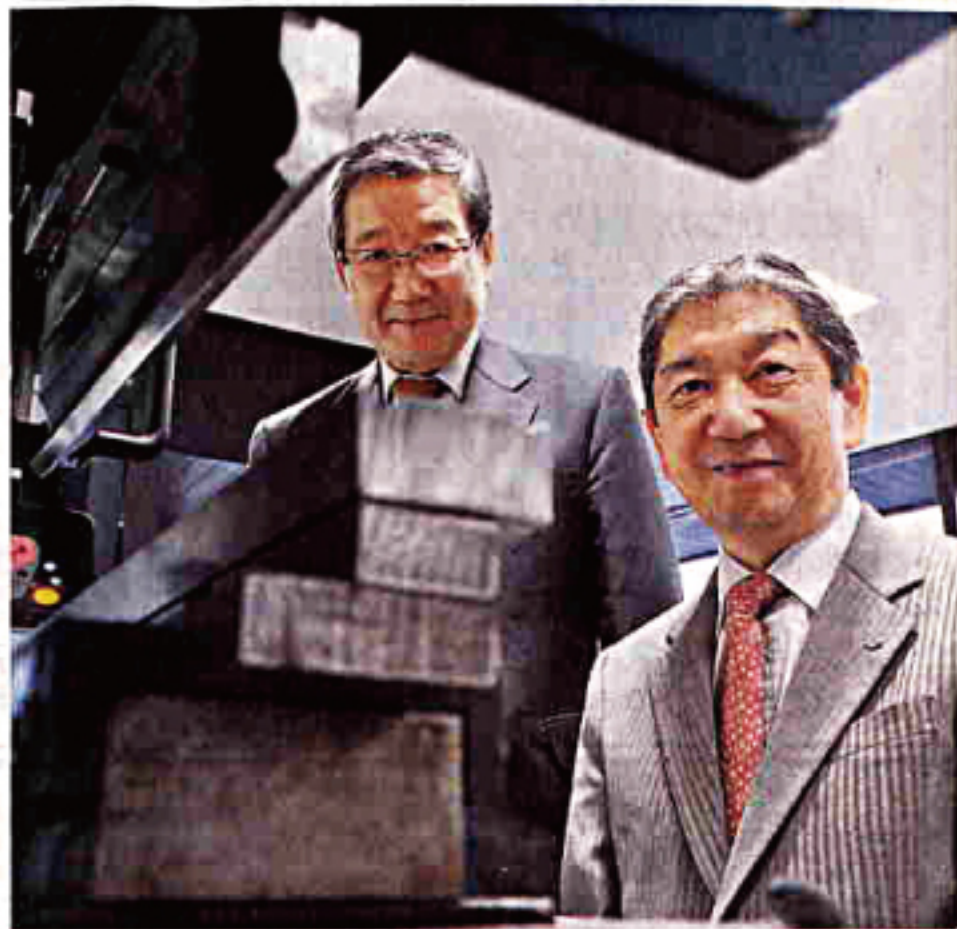
指守り抜くこれが天命

安全第一⑥

人・脈・記

ニッポン

jinmyaku@asahi.com



小森雅裕さん(左)と明彦さん

東京・西浅草の善龍寺に

「指塚」はある。建てたのは小森武彦。隣に立つ小森家の墓に眠っている。

昨年9月のお彼岸、武彦の次男明彦(58)は指塚の前を歩く初老の女性と20代の男性を見かけた。

母親らしい女性が言った。「いいがあるじゃない。あなたも指がないんだから、押んでいきなさい」。男性は指塚に向かってしばらく手を合わせていた。

指塚の裏に武彦の言葉が刻まれている。(幾多の人々がプレス災害により指を失い不具者となりたるを思いその不幸をいたみここに指塚を建立するものなり(原文))。塚の下には武彦が開発した安全装置が埋まっている。

戦後の混乱期、武彦は竹細工の製造販売を手がけた。その後、せんべい屋を経てプレス加工を始める。

ところが、叔父である工場長が機械で指を3本落とすと、プレス加工をあっさり廃業してしまう。指が10本あるプレス工は一人前とは思われない時代だった。

ほどなくして武彦は安全装置の開発に乗り出す。「そうだ。プレスの安全機を作るのだ。これが私に与えられた天の使命である」と後に記して

いる。

プレス機械は上と下に型があり、その間に手で材料を入れる。当時の機械は、足でペダルを踏んで型を動かした。手が残っているうちに上型が落ちてくると、指を切り落としてしまう。

手があるときには型が動かないようにすればいい。武彦は1952年に1号機を完成させる。その後、手を外に出すと同時にスイッチを操作することで型を動かす装置を開発。作業効率が落ちないため、ヒット商品になった。

国もプレス機の災害防止に動き始めた。武彦は労働基準監督署が開く講習会に講師として呼ばれるようになる。長男の雅裕(61)もよく連れていってもらった。「講習会が終わると、安全装置を注文する人が行列をつくっていた」。幼心に焼き付いた光景は今も忘れられない。

武彦が設立した小森安全機研究所は、雅裕から明彦に引き継がれた。今ではプレス機械のほとんどは電子制御にな

り、安全装置は光学式が主流になっている。

マスクや安全帽、命綱、安全靴……。働く人の安全と健康を守るためには質の良い保護具が必要になる。56年、保護具メーカーが情報交換のために「みどり会」をつくった。幹事長に就いたのが、マスク専門メーカー重松製作所を設立した重松健造(83)だ。三男で相談役の開三郎(83)がよく聞かされた創業当時のエピソードがある。

健造は輸入した理化学品を販売する会社に勤めていて、セールスマンとして様々な工場に出入りしていた。

めっき工場の食堂で、若い工員が弁当箱を開いてたくあんをかじっていると、熟練工が言った。「たくあんがかじれるようでは一人前じゃないぞ。おれの歯を見る」。熟練工の歯はポロポロ。めっきで使う酸の霧の影響だった。

なんとか被害を防ぐ方法はないか。1917年に独立した健造は、アメリカからの輸入品を参考にして防じんマスク作りを始めた。海綿で作ったマスクは、ブタの鼻に似ているため「ブタマスク」とあだながついた。

国が発展するには良い製品を作る必要がある。良い製品を作るには熟練工が必要だ。せっかく経験を積んだ熟練工が職業病になってしまったのは日本の産業が駄目になる。「これが父の考えだった」と開三郎はいう。

みどり会は日本労働災害防止推進会と名前を変えて活動を続け、今は45社が加盟している。

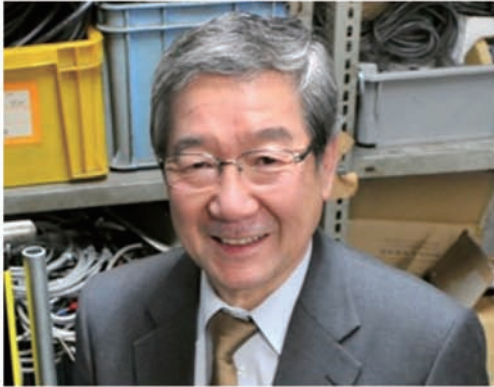
(沢路毅彦)



重松開三郎さん



ニッポン人脈記／新シリーズは「安全第一」（夕刊1面＝一部地域は朝刊）



東京・西浅草の善龍寺に「指塚」があります。故・小森武彦さんが建てました。戦後、小森さんはプレス加工を始めますが、工場長が機械で指を3本落とすと、廃業してしまいます。指が10本あるプレス工は一人前とは思われなかった時代でした。小森さんは安全装置の開発に乗り出し、1952年に1号機が完成。小森さんは災害防止の講習会に招かれるようになります。よく連れていってもらったという長男の雅裕さん(61)＝写真＝は「講習会が終わると、安全装置を注文する人が行列をつついていた」と振り返ります。

変わる「災害シミュレーション」（3月26日朝刊・科学面）



東日本大震災後、「想定外」の事態をなくそうと、さまざまな自然災害の予測がなされています。次世代スパコン「京」を使い、地震の揺れと津波をひと続きに予測したり、建物被害から避難行動までを予測したりする試みも始まっています。予測の精度が高まっても、結果には誤差がつきまといいますが、それでも誤差があることを理解しつつ、防災にいかす方法が探られています。3月26日は、そんな災害シミュレーションの研究の現状を紹介します。

逆風満帆／大震災の後に大役を引き受けた原動力／五百旗頭真さん（3月24日朝刊・土曜別刷りbe）



人物評伝「逆風満帆」は神戸大名誉教授で防衛大学校長の五百旗頭真(いおきべ・まこと)さん(68)を特集しています。政治外交史が専門で、「米国の日本占領政策」でサントリー学芸賞、「日米戦争と戦後日本」で吉田茂賞を受け、歴代首相の外交助言者としても活躍してきました。2006年からは防衛大学校長も務めています。昨年の東日本大震災後、菅直人首相(当時)の肝いりで発足した「復興構想会議」の議長を任せられます。大役を引き受けた原動力は何だったのか、議論の模様は…。政治学会で左派が力をもっていた時代、猪木正道氏、高坂正堯氏という「現実主義者」とされる恩師に

学び、司馬遼太郎との若き日の交流なども胸に、「現実」に立脚した学問を確立しようと奮闘しました。そんな歩みを3回にわたって紹介し、3月24日が最終回です。